

## ■■ 脳梗塞と生活習慣病の危険な関係 ■■

内分泌代謝科 吉寄友之

本邦の寝たきりの患者さんは2000年に120万人に到達しました。その原因の約40%を脳卒中が占めています。糖尿病、脂質異常症、高血圧症といった生活習慣病は動脈硬化を進め、脳梗塞や心筋梗塞の発症につながります

2009年から2011年までの3年間に、当院に脳梗塞で入院した患者さん345人について調査したところ、糖尿病、脂質異常症、高血圧症のいずれかを患っている方は312人(90%)と、ほぼ全員が何らかの生活習慣病にかかっていた。うちわけは糖尿病：191人(55%)、脂質異常症：193人(56%)、高血圧症：228人(71%)でした。

これらの病気の治療を入院前から受けていた方は、糖尿病：63/191人(33%)、脂質異常症：58/193人(30%)、高血圧症：155/228人(68%)と、糖尿病と脂質異常症の治療介入が少ないこともわかりました。

生活習慣病の治療目標は脳梗塞や心筋梗塞を防ぐことにあります。生活習慣病のチェックをされていない方、治療すべきか迷っている方、治療を中断されている方は、ぜひお早めにご相談ください。

脳梗塞患者の生活習慣病の罹患率



脳梗塞発症時の治療介入の有無



<第55回日本糖尿病学会年次学術集会で報告>

### お知らせ

● **ノルディックウォーク教室**

平成27年9月12日(土) 14:00~ (第2土曜日)  
※8月の教室はお休みです

● **ロコモ体操教室**

講師 帝京平成大学 ヒューマンケア学部 教授 渡會 公治

日時 平成27年8月19日(水) 17:30 ~ 18:30 (第3水曜日)

場所 クリスタルスポーツクラブ世田谷(三宿病院すぐそば) ※施設利用料540円

※クリスタルスポーツクラブ世田谷ではロコモ体操教室を開催しております(毎週水/木曜日)

